

平成 29 年度 特別会計決算額

特別会計とは、特定の事業を行う場合に特定の収入を特定の支出にあて、一般会計とは別に収支経理を行うことです。平成 29 年度の特別会計決算額は、歳入 22 億 5,144 万円、歳出 21 億 7,779 万円です。詳しくは下記の表のとおりです。

●特別会計	単位：万円	歳入	歳出
国民健康保険		16 億 9,467	16 億 3,573
後期高齢者医療		2 億 8,374	2 億 8,238
診療所事業		1 億 1,443	1 億 331
井内地域開発事業		115	99
町営浄化槽整備推進事業		1 億 5,745	1 億 5,538
●水道事業特別会計			
水道収益的収支		2 億 9,453	2 億 3,327
水道資本的収支		1,800	1 億 1,006

●町の貯金と借金 (平成 29 年度末)	単位：万円	
基金 (貯金)	財政調整基金	21 億 6,009
	地域振興基金	11 億 3,140
	その他の一般会計基金	4 億 2,325
	特別会計基金合計	1 億 8
地方債等借金	一般会計	79 億 8,870
	水道事業特別会計	14 億 4,329
	町営浄化槽整備推進事業特別会計	2 億 3,990
	地方債等合計	96 億 7,189



平成 29 年度決算報告 一般会計歳出額は

60 億 5,697 万円

平成 29 年度一般会計・特別会計の決算が町議会 9 月定例会で承認されました。

当初予算 64 億 3,537 万円スタートした平成 29 年度一般会計決算は、歳入が 63 億 7,870 万円、歳出は 60 億 5,697 万円。歳入から歳出を差し引くと 3 億 2,173 万円の黒字となりますが、30 年度へ繰り越す事業に必要なお金が 9,693 万円ありますので、

実質的な収支は 2 億 2,480 万円の黒字決算となり、そのうち 1 億 2,000 万円を財政調整基金に積み立てました。その他、特別会計においては以下の表のとおりとなっています。

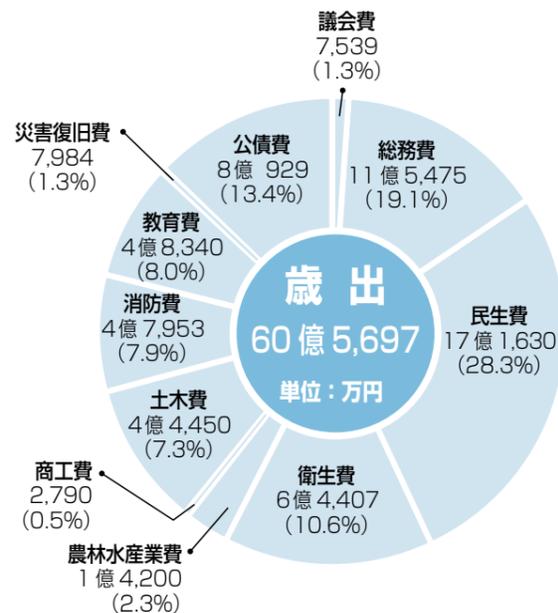
それでは、平成 29 年度の一般会計決算状況をお知らせします。(予算額・決算額は、千円単位を四捨五入しています。)

◆ 平成 29 年度の主なまちづくり事業

総務費	
町有林整備委託事業	272 万円
旧紀宝町役場庁舎解体事業	5,765 万円
町民バス運行委託事業	5,253 万円
地方創生拠点整備交付金 コテージ整備事業	1 億 1,815 万円
地方創生拠点整備交付金 直売・集客交流拠点施設整備事業	1 億 286 万円
民生費	
臨時福祉給付金事業	3,957 万円
福祉医療費助成事業	7,436 万円
学童保育運営委託事業	1,265 万円
衛生費	
予防接種事業	2,809 万円
妊婦個別健診・乳幼児健診事業	758 万円
環境測定委託事業	258 万円
農林水産費	
団体営農村振興総合整備事業	3,749 万円
有害鳥獣駆除補助事業	307 万円
新規就農者補助事業	600 万円
商工費	
ウミガメ公園管理等委託事業	503 万円
光の祭典 in 紀宝イベント業務委託事業	200 万円
土木費	
道整備交付金事業	1 億 2,725 万円
社会資本整備総合交付金事業	5,537 万円
大里第一排水機場ポンプ取替事業	3,672 万円
消防費	
成川地区高台整備事業	793 万円
紀宝町新防災情報システム整備事業	1 億 5,483 万円
紀宝町ハザードマップ作成委託事業	245 万円
教育費	
鶴殿小学校大規模改修事業	1,009 万円
相野谷中学校非構造部材改修事業	752 万円
鶴殿運動場大規模改修事業	1,093 万円

歳出は 60 億 5,697 万円となり、目的別で見るとトツプに立ったのは児童手当や福祉医療費助成制度などの民生費で、歳出全体の 28.3% を占める 17 億 1,630 万円でした。続いて多いのが各イベント費用や選挙費用などの総務費で、19.1%、11 億 5,475 万円となりました。

歳出



歳入は 63 億 7,870 万円となりました。歳入を町税や諸収入など町が自主的に確保することができると、地方交付税や国庫支出金などの依存財源が 72.4% と全体の 2/3 を超えており、自主財源の金額が前年度より減額したため、依存財源の割合が 0.3% 上がっています。また、町税収入などの自主財源は 27.6% で全体の約 1/4 となっています。

歳入

